

都道府県事業実施状況報告書及び評価報告書

整備事業

I 産地競争力の強化を目的とする取組用（平成29年度実施地区）

（新潟県 令和元年度）

市町村名	事業実施主体名 (対象作物・畜種等名)①	メニュー① 成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①						メニュー② (対象作物・畜種等名)②	メニュー③ 成果目標の具体的な内容③	事業実施後の状況②						メニュー④ 特別枠加算の取組の具体的な実績④	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考	
			計画時(平成27年)	1年後(平成29年)	2年後(平成30年)	3年後(令和元年)	目標値(令和元年)	達成率			計画時(平成27年)	1年後(平成29年)	2年後(平成30年)	3年後(令和元年)	目標値(令和元年)	達成率				交付金	都道府県費	市町村費	その他					
佐渡市	佐渡農業協同組合	産地収益力の強化に向けた総合的推進 畜産物売上の拡大	361,994千円	335,088千円	340,979千円	353,778千円	410,145千円	-17.1%	新商品の売上高は年々伸びているが、その他の加工乳製品の販売が伸びなかったため、目標値には至らなかった。	【乳用牛】事業実施地区において1頭当たり労働時間を削減 畜産生産基盤強化	240h/頭	219h/頭	206h/頭	189h/頭	165h/頭	68.0%	目標値には達していないが、機械導入や組織化による粗飼料収獲の実現により労働時間の短縮が図られている。	1.建築工事 115,560千円 2.製造請負工事 407,700千円 3.附帯工事費 28,080千円 4.その他 27,854千円 5.総工費 579,194千円	579,193,896	162,014,000	0	97,208,000	319,971,896	平成30年3月26日	酪農家の生乳生産量が施設の稼働率に大きく影響することから、規模拡大や、一頭あたりの乳量増加を図るための指導を行う。また、イベントや取引先に対しての更なる販売促進に努める。	別紙のとおり		

平均達成率	25%	総合評価	ふるさと納税返礼品への参画、コロナによる需要減(学校給食等)への対応(島内企業販売斡旋等)など一定の評価はできる一方、安価な島外産牛乳に押される状況に変化がないため、島内消費拡大への取組を一層進める必要があると考える。また、頭数の減少等により生乳生産量の減少が続いていることから、規模拡大、担い手の確保、1頭あたり乳量の増加への指導・支援を継続して行っていく必要がある。
-------	-----	------	---

- (注) 1 別紙様式1号の2のIに準じて作成すること。
 2 要領第1の1の(2)のAの(ア)から(ウ)の場合にあっては、事業実施後の状況の欄を追加し、記入すること。
 3 別添として、各事業実施主体が作成した事業実施状況報告書を添付すること。
 4 「事業実施主体の評価」欄と、「都道府県の評価」欄については、評価の対象となる年度のみ、それぞれの所見を記入すること。
 5 「総合所見」欄については、評価実施年度の取組について、都道府県全体の総合所見を記入すること。
 6 「都道府県平均達成率」欄は、都道府県において事業実施地区で掲げている成果目標ごとの達成率の平均値とする。

別紙（県の評価）

【畜産物売上高の拡大】

今回の事業により整備された設備を活用し、新製品の開発や増産に日々取り組んでおり、利益率の低い商品の見直し等も実施し、売り上げの拡大を目指している。

生乳生産量の安定確保が必要であることから、乳量増加に向け、TMRを活用した飼料給与体系の改善、高能力牛への更新等の指導を行うとともに、新規就農者の受け入れ・支援体制の構築や、後継者の就農に向けた支援を進めていく。また、関係機関で酪農家巡回を行い、技術指導を行うことで1頭当たりの乳量の改善を図る。

【乳用牛の1頭あたり労働時間の削減】

目標を達成していないが労働時間の削減が進んでいる。しかし、高齢化や堆肥処理の問題等により、規模拡大や増頭が進まない状況が課題となっている。

今後は、乳牛管理の省力化に向けた施設整備や機械導入に係る補助事業等の活用支援、資金等の情報提供を行う。また、堆肥処理施設や機械の導入等も含め、効率的な堆肥処理に係る指導・支援を行う。